

## 平成 29 年秋期 富岡第三地区推進連絡会要旨

### 1 日時

平成 29 年 11 月 30 日 (木) 18:00～19:45

### 2 場所

富岡地域ケアプラザ

### 3 参加者

(地域側) 自治会等地域団体関係	49名
(支援チーム、その他行政側)	
区役所	12名
区社会福祉協議会、地域ケアプラザ	8名

### 4 意見交換要旨

#### (1) 地域福祉保健計画富岡第三地区 地区別計画における取組事例

以下の 5 点についてパワーポイントを用いての発表があった。

#### ア 富岡西部町内会「富岡小学校 花だん応援隊活動」

(発表者：富岡西部町内 斉木会長)

##### 【内容】

富岡小学校の花壇を活用しながら、シニアと児童（3年生）が総合的な学習の時間等を活用して、一緒に種から花苗を育て、学校を花で飾る植栽活動を月に 1 回、各日 2 時間目（9:35～10:20）に行っている。個別学級の子供たちと一緒に野菜作りも始めている。

##### 【意見交換】

- ・(感想) 子供に落ち着きがみられるなどの変化がみられる。近所の人たちへの信頼感が持てたようだ。
- ・(感想) シニアの方にも、子供に関わることで元気になったという意見も聞かれる。
- ・(感想) 地域で育てるという意識の芽生えがみられる。
- ・(感想) 地区の方からも児童との交流に好意的な声が聞かれる。

#### イ 富岡北部町内会「支えあいマップづくり」

(発表者：富岡北部町内会 佐藤会長)

##### 【内容】

地域の「気になる人（支援を必要と考えられる人）」とその人への住民の

関わりをマップ（住宅地図）に落とし込み、支え合い活動の実施状況や支援の欠けている状況を把握し、その地域の取り組み課題を抽出するもの。

「公助」の福祉だけでは拾いきれない（対応できない）課題に対応するための「住民の支え合い」（共助）を進めていくことを目的とする。

今後は対象を広げていき、マップの充実を図っていく。

**【意見交換】**

- ・（感想）地域の高齢者への支援の状況だけでなく、様々な情報が集まるようになっており、これからもこの活動が続いていけばと思っている。

ウ 富岡桜が丘町内会「高齢者がいきいきと暮らせる町」

（発表者：富岡桜が丘町内会 大橋会長）

**【内容】**

家から出られない高齢者に対する訪問や「一人暮らしふれあい昼食会」で孤立しない関係づくりを進めている。具体的な例としては、映画・落語鑑賞会や野球観戦、フリーサロン「ささえあいの会」での折り紙と会話の会・クリスマスの集い、老人会での日帰り旅行・寺社巡り会がある。

今後の重点取組課題としては、①班長による高齢者への訪問・声掛け、②一人暮らし高齢者への訪問、を挙げており取組を進めていこうとしている。

**【意見交換】**

- ・（補足）各活動は年齢に合わせた無理のない内容で実施されている。

エ ひかりが丘町内会「災害時安否確認活動」

（発表者：ひかりが丘町内会 井上会長）

**【内容】**

平常時には町内の同好会・サークル、各部会の活動を通じて「会員間のつながりを持ち、ご近所の付き合いや民生委員による「高齢者などの要援護者のみまもり」を行っている。

災害時安否確認訓練を実施し、高齢者を含む全戸の見守り・安否確認を実施し、訓練開始から1時間ほどで全47班 約570所帯の確認を行うことができた。

この訓練を基に課題を是正する予定で、今年度中にもう一度訓練を実施する予定である。

**【意見交換】**

- ・（区役所への質問）安否確認で区役所からもらったボタンちゃんの旗だが、町内の半数以上の方がなくしてしまっている。新しいものはもらえ

ないものか。

- ・(回答) 高齢障害支援課に確認し、別途回答する。
- ・(意見) 自分の町内会では、新しい旗を待ってはもらえないので独自につくっている。

#### オ 西富岡町内会「西富岡町内会の防犯・防災活動」

(発表者：西富岡町内会 梅原会長)

##### 【内容】

平成29年10月までの防犯、防災の取り組み事例を発表。防犯の取り組みとしては防犯パトロールや青色回転灯搭載車パトロール、犬の散歩時にパトロールを実施してもらう「わんわんパトロール」等を行っている。各パトロールの実施については、日誌を付けることや実施結果を残すことも行っている。今後も防犯パトロールによる犯罪抑止効果の継続と、実施会員の確保に努めていく。防災の取り組みとしては、「自助」、「共助」の重要性を伝えている。防災拠点である小学校の体育館が工事中のため、学校と調整して、図工室を避難所とする訓練も実施した。「西富岡災害援護隊行動マニュアル」を作成し、安否確認を班ごとで行う体制をとっている。その他、防災備蓄品の充実、各家庭向けの防災備品斡旋、防災機材の取扱い訓練の実施等を行っている。

##### 【意見交換】

- ・特になし

#### 5 その他

##### 【区長からの全体的な感想について】

健康寿命を延ばすことが横浜市目標となっている。要援護者対策というと、認知症対策等に注目しがちだが、健康寿命にも注目してもらいたい。今回発表してもらった社会活動に参加すること自体が健康寿命を延ばすことにつながると東京都の健康長寿研究所のデータで出ている。社会活動への参加は自身の健康につながることを覚えておいてほしい。

学校とのつながりについてだが、小学生は自分で自分を守ることはできない。学校と地域が良好な関係であればこそ、こどもたちの安全につながって